| プロジェクト | 取組内容(仮称) | KPI | 担当課 | 基準値 | 目標値 | 目標値 備考 | 目標値の 考え方 | 目標値の根拠 |
|---------------------------|-------------------------|---------------------------------------|------------|----------|----------|-----------|----------|--|
| 1 たてやまの経済発展をめざす | ① 新しい働き方を創出する | 企業誘致活動件数 | 雇用商工課 | 延べ192件 | 延べ200件 | 累計 | 3 | 過去5年間(令和2年度~令和6年度)の実績値 を基に設定 |
| | ② 地域産業の担い手を支援する | 認定農業者数(農業法人を含む) | 農水産課 | 104人 | 104人 | | 3 | 稼げる農業への転換支援による継承者や就農者の確保により減少を食い止める |
| | | 認定農業法人数 | 農水産課 | 21法人 | 28法人 | | 3 | 過去5年間(令和2年度~令和6年度)の実績値 を基に設定 |
| | | 新規漁業就業者数 | 農水産課 | 13人 | 65人 | 累計 | 3 | 過去5年間の推移から減少傾向にあるため、R6年末実 測値を維持した5年間の累計値を目標値とした |
| | ③ 地域経済の成長・循環を促進する | 農産物等を使用した加工品の新商品開発数 | 食のまちづくり推進課 | 0品 | 50品 | 累計 | 2 | デジタル田園都市国家構想交付金に係る地域再生計画で設定した目標(年10品×5年間) |
| | | 館山ブランド認定数 | 食のまちづくり推進課 | 3品 | 18品 | 累計 | 7 | 年3品×5年間 |
| 2 たてやまに愛着を持つ人をふやす | ① 交流人口を増やす | スポーツ観光イベント参加者数 | スポーツ課 | 13千人 | 13千人 | | 4 | イベントの見直しを行った上で数値は維持することとした |
| | | "渚の駅"たてやま 年間来館者数 | 観光みなと課 | 403千人 | 500千人 | | 8 | 『第2期館山市まち・ひと・しごと創生総合戦略』において設定した数値 |
| | | 道の駅グリーンファーム館山 年間入込客数 | 食のまちづくり推進課 | 23万人 | 40万人 | | 2 | 指定管理者から提出された館山市「食のまちづくり拠点 施設」整備事業作業計画で設定した目標 |
| | ② 関係人口を増やす | ふるさと納税返礼品登録地場産品数 | 行革財政課 | 540品 | 660品 | | 3 | 過去 5 年間の推移から算出 |
| | | L I N E 市アカウントフォロワー数 | 秘書広報課 | 8,472人 | 14,000人 | | 3 | 令和7年4月1日時点の世帯数の1/2 |
| | | 事前プレスリリース数 | 秘書広報課 | 231件 | 270件 | | 3 | 過去5年の実績値222件の約20%増 |
| | ③ 移住者を増やす | 移住相談件数 | 雇用商工課 | 1,227件 | 1,250件 | 累計 | 3 | 過去5年間(令和2年度~令和6年度)の実績値 を基に設定 |
| 3 安全・安心なまちで人をはぐくむ | ① 子育て世代を支援する | 「元気な広場」利用満足度の割合 | こども課 | 99% | 現状維持 | | 7 | 令和5,6年度の実績から算出 |
| | | 公設学童クラブ利用満足度の割合 | こども課 | 99% | 現状維持 | | 7 | 令和5,6年度の実績から算出 |
| | | 保護者のメール配信システム登録率 | 教育総務課 | 99% | 現状維持 | | 7 | 導入初年度に導入率99%を達成したが、年度ごとに児童生徒が入れ替わるため、それを維持する |
| | | 教師用デジタル教科書活用率 | 教育総務課 | 48% | 80% | | 7 | 担当時数の3割以上活用している教員数8割を目指す |
| | ② 安全・安心なまちをつくる | ケアプランデータ連携システム導入事業所数 | 高齢者福祉課 | 1事業所 | 20事業所 | 累計 | 7 | 館山市内居宅介護支援事業所(26事業所)の8 割程度 |
| | | 特定健診受診率 | 健康課 | 35.4% | 44.0% | | 2 | 第3期データヘルス計画で設定した目標 |
| | | 自主防災訓練実施率 | 危機管理課 | 38.4% | 100% | | (5) | 全ての自主防災組織が計画期間5年間のうちに最低1回の防災訓練を実施する |
| 4 社会の変化に適応可能な行政基盤 をつくる | ① 「コンパクトでしなやかな組織体制」への変革 | 時間外勤務の年間時間数 (職員1人当たり) | 総務課 | 103時間 | 80時間 | | 7 | |
| | ② 歳入確保・歳出削減の取組 | ふるさと納税額 | 行革財政課 | 6.3億円 | 9.3億円 | | 6 | 全国自治体における直近3年間の増減率から算出 |
| | | 『第4次館山市行財政改革方針』に掲げた実施 計画(78項目)の達成率 | 行革財政課 | 数値なし | 100% | | 7 | 『第4次館山市行財政改革方針』で設定した目標 |
| | | 公共施設の延床面積 (減少) | 企画課 | 148,660㎡ | 118,928㎡ | | 2 | 館山市公共施設等総合管理計画で設定した目標 |